

おざわ良央 よしなか



発行：おざわ良央事務所 〒250-0042 神奈川県小田原市荻窪 166
☎0465-35-0001 📠0465-35-4666 🌐ozawayoshinaka.com



地域に寄り添う

昨年、政治、特に自民党の一部の国会議員の派閥裏金問題は、おざわ良央議員もさまざまな形でその余波を被りました。

コロナ禍がようやく収まり始め、多くの皆様から、ますますの期待を集めて活動中のおざわ県議にとっても、各面でブレーキとならざるを得ない年となりました。「政治とカネ」に関わる自民党勢の低迷が、各種選挙にも様々な影響を与え、国民の怒りや不満がいかに大きいものか、あらためて知らされました。

経済協力開発機構（OECD）が昨年公表した調査によると、中央政府への国民の信頼度は、加盟国平均が41%に対し、我が国はなんと24%!!とか。この恐るべき数字は、地方政府に対しても同様なのか？と考えさせられます。

“地方こそ成長の主役”、自民党が今年の総裁選で掲げた公約の一つです。大きな政治目

標は目標として、地方がますます元気になり、神奈川や小田原がもっともっと成長するには、まず私達一人一人が、行政や政治に少しでも関心を寄せること、ひいてはおざわ県議を始め、地方議員が主導的な立場を発揮して、私達のまちへの愛着や信頼度をより高める必要があります。

おざわ県議の政治のモットーは、「まっすぐに、誠実に」です。市民の皆様“寄り添う”優しいまなざしは、変わらずこれからも注がれ続けます。おざわ良央県議の令和7年度の活躍にご期待ください。



望年のつどい

おざわ良央後援会幹部会恒例の“望年のつどい”が昨年11月末にぎやかに開催されました。



自民党代表質問

令和6年9月定例会県議会で、自民党の代表質問がおざわ良央県議の同僚県議2名により行われました。県政全般にわたり幅広いテーマが採り上げられ、黒岩知事等からの答弁を受けました。多岐にわたりますので、質問の概略のみご紹介いたします。

1 県政課題への知事の基本姿勢について

- ① 令和6年度の税収見通しと、今後の財政運営について
- ② 法人二税の超過課税について
- ③ かながわの水源地環境の保全・再生に向けた取組について
- ④ 新たな地方独立行政法人（中井やまゆり園）の運営のあり方
- ⑤ 在日米軍による事件・事故に係る情報提供等について



2 県民の安全、安心を守る取組について

- ① 台風10号への対応と水防災戦略の充実
- ② 新たな地震防災戦略について
- ③ 大規模地震に備えた住宅の耐震化
- ④ 大規模災害時に対応する医療提供体制
- ⑤ 繁華街・歓楽街の環境浄化への取組
- ⑥ 金属類の盗難の現状と県警察の取組

3 医療・福祉の取組について

- ① 当事者目線に立った難病患者への支援
- ② 保育士の確保について
- ③ 県立保健福祉大学の人材確保・育成
- ④ 県立病院の医療DXの推進

4 県政の諸課題について

- ① パリオリンピック、パラリンピックを契機としたスポーツ振興について
- ② 東京2025デフリンピックを契機とした障がい者スポーツ振興について
- ③ eスポーツ活用の取組について
- ④ 支援を必要とする子どもの権利擁護
- ⑤ 埋蔵文化財発掘調査への市町村支援について
- ⑥ 公共建築物等の木造・木質化の推進
- ⑦ 教員不足の解消に向けた取組について
- ⑧ 小中学校の栄養教諭等の配置について
- ⑨ 県職員向けのカスタマーハラスメント対策について
- ⑩ 北朝鮮による拉致問題について
- ⑪ リチウムイオン電池の分別について
- ⑫ インクルーシブ教育のさらなる推進

5 持続可能な活力ある地域社会の実現

- ① 企業版ふるさと納税のさらなる獲得
- ② かながわ観光連携エリア推進事業の今後の展開について
- ③ 県営住宅の空き住戸の有効活用
- ④ 持続可能な水産業に向けた水産資源管理

6 県内産業の更なる活性化への取組

- ① スポーツツーリズムの推進について
- ② 一般業務委託に係る入札制度の改善
- ③ 海外からの人材確保及び定着の取組
- ④ 水産物の養殖の振興について

予 告

令和7年2月開会の県議会にて、おざわ良央県議の一般質問が予定されております（詳細未確定）。ご期待ください。



令和6年度

県民ニーズ

県政運営に反映するために、
県が毎年度実施している
「基本調査 一県民の生活と
県政についての意識調査」の
結果概要をポイントのみご紹介いたします。

1 現在の生活の満足度について

《満足している》は、前年度比 4.9 ポイント増の **54.1%**
逆に“不満”は 22%

3 定住意向について

《現在のところへ住み続けたい》は、
2.4 ポイント増の **63.8%**

5 県行政への要望について

《防災対策》が、4.4 ポイント増の **51.6%**で第1位、
以下、治安対策、医療体制の整備、高齢者福祉対策、
子育て支援等が特に求められていました。

2 前年度に比較した 現在の暮らし向きは、

《悪くなった》は 3.7 ポイント減の **39.7%**
ポイントは減したものの、悪くなった理由で
日常生活費増は最多、次いで収入減

4 生活意識について

《育児は社会的にも重要であり、もっと評価され
るべきだ》が、3.4 ポイント増の **89.8%**で第1位
《夫は外で働き、妻は家庭を守るべき》については、
そうは思わない、が 86.6%

足柄上病院の再整備

小田原市立病院との医療提携が注目される県立足柄上病院（松田町）の再整備構想。コンセプトは、回復期医療、感染症医療、災害時医療、救急医療を充実し、「元気に生き生きとくらせる“いのち”を守る病院」。近隣の公的医療機関、小田原市立病院、秦野赤十字病院と連携し、医療DXなども活用しながら、さまざまな形で高齢者を守る医療を提供する。当初の工事費用 78 億円は高騰、1.7 倍にもなりそう。2026 年度新棟着工、2029 年度当初の開院を予定。小田原市立病院の新築工事も併せて進められており、県西地域全体の安全、安心が強化される。



工事中の小田原市立病院



台風10号襲来

令和6年8月末、台風10号は、県西地域、特に小田原市域に大きな被害をもたらし、おざわ県議もその対応に奮闘。森戸川や山王川の護岸崩落、国道135号（江の浦地先）の小規模土砂崩れ、鴨宮駅西側の県道719号畝田ガード下の冠水や、県道740号（片浦旧道）、小田原厚木道路の通行止めを始めとして、市内60ヶ所以上の農地、宅地、道路等の破損があり、市、県当局の懸命な対応が続いた。



おざわ良央

Photo News



開かれた議会づくり検討小委員会

